

# もり 森林とのふれあい



INTERNATIONAL YEAR  
OF FORESTS • 2011

平成23年6月7日(火)発行 NO. 85

## 未来に向かってはばたけ！親子で愛林の鶴を製作

～かすみがうら市立下稲吉小学校～

6月3日。かすみがうら市立下稲吉小学校にて森林教室と木工教室を実施しました。この森林教室は、5年生の親子レク行事として依頼があり、毎年好評をいただいている企画です。

授業時間2コマをいただき、まずは森林教室を実施。日本や茨城県の森林の分布や木工教室で使用する松ぼっくりの話などをクイズを交えながら実施しました。クイズの内容は、これから習う部分もあり少し難しい内容でしたが、みなさんよくできていました。

その後、愛林の鶴を作成しました。材料は、松ぼっくりと竹の枝、丸太を伐ったものと至ってシンプルですが(右イラスト参照)、自然の素材のためオンリーワンの鶴を作れることや、親子で会話をしながら作ることから、今年も盛況のうちに終了することができました。

今年は国連が定めた国際森林年です。こういった体験から森林について考えてもらい、森林とふれあうきっかけの1つとしてもらえればと思います。(＠ぐう)



親子での会話もいつもより多くなったのでは？

### 「愛林の鶴」の作り方

※ 愛林の鶴を上手に作るにはいくつかのコツがあります。以下を良く読んで製作してください。

**材料**

- ① 松かさ (長さ3~4cm、かさが開いたもの)
- ② 竹の枝 (乾いたものを多めに用意する。)
- ③ 木の輪切り (直径5cm程度、乾いたもの)

**道具**

- ・ノコギリ (歯の細かいもの)
- ・ニッパー、小刀 ※竹の枝の加工に使う。
- ・キリ ※松かさ、木の輪切りに穴を開ける。
- ・ろうそく ※加熱して竹を曲げる。(加熱後は水で冷ます。)
- ・木工用ボンド (速乾性のものがよい。)
- ・水、布、紙ヤスリなど ※各自で工夫して下さい。

**作り方**

(1) 4つのパーツを作る。

注) 順番は次のようになります。

① 松かさ乾いた状態で、足の取り付け部を決め、その部分の松かさの一片をニッパーで切り取る

② 松かさを揺らせ、しばらく待つ。(松かさが軟らかくなり、次の③、④の作業がやりやすい。)

③ 足の取り付け部にキリで穴を2つあける。④ 頭部の取り付け部にキリで穴を1つあける。

(2) 各パーツを組み合わせ、接着する。

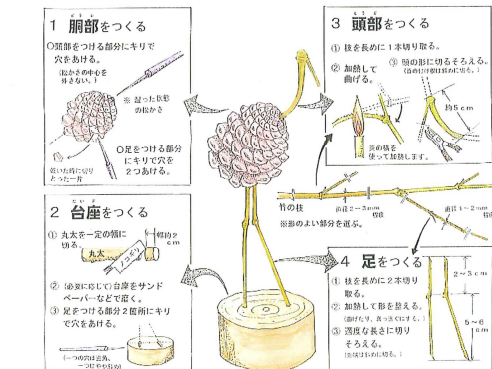
注) 組み合わせる順番は次のとおりです。

① 胴部に足をつける。(注: 足の先にはボンドを十分つける。)

② 胴部をつける。③ 鶴を台座に貼えつける。



オンリーワンの鶴のできあがり！



作り方も簡単なので、作成してみてください。